

■用排水路の保全活動

中能登支部 【邑知潟水土里ネットワーク】

邑知潟水土里ネットワークは、羽咋市の農地を所有している町会すべてと中能登町の一部の町会を含めた48町会を一つの活動区域として活動を行っています。

当組織では活動の一環として、ほ場整備等で使用済みとなったU字溝を一本100円で購入し、羽咋市中川町の邑知の里公園に一時保管して希望町会に割り振る「リサイクルバンク」を行っています。(写真)

既に活動区域内の多くの町会で未整備の用排水路に使用され、維持管理労力の軽減に役立っています。

その中の一つ、羽咋市千田町では土水路のままであった排水路約150mに地域住民が協力してリサイクルU字溝を敷設しました。これにより降雨後の溢水や堆積土砂の処理に悩まされることがなくなり、大変喜ばれています。これをきっかけに、非農業者から農業水路への理解が得られ、自分達で整備した水路を守っていこうという意識も高まりました。

また、羽咋市上江町では、排水路が約200mにわたり部分的に吸出しをうけ、アーム柵渠の柵板が外れて流水障害をきたしていたため、業者に頼らず農業者が中心となって補修しました。

土のう袋の土入れから柵板の設置まで全て自分達で行ったため、完璧な出来ではありませんが充実した達成感を得られ、これまで以上に水路を大事にしていこうと再認識しました。



■水路の目地補修について（施設の長寿命化）

県央支部 【潟端環境保全会】

津幡町字潟端地内において、地域住民の協力の下、農業用排水路の目地補修に取り組みました。

当地区では、ほ場整備により布設した用排水路が40年以上経過し、所々で目地が剥がれ、水漏れや土砂混入が見られました。(写真：左)そこで農地・水向上活動として開水路の目地補修を行いました。土砂上げを行った後、破損箇所にもルタルを詰め、改修しました。(写真：右)

整備後は良好な通水が保たれ、農業用施設の管理の軽減と長寿命化につながっております。



■目地詰め V ベルトで長寿命化

南加賀支部【川北町農地水資源保全組合（下田子島）】



川北町下田子島地区の水利施設は、ほ場整備完了後35年経過しており、用水路の目地剥離が多々あり、営農に支障をきたしていました。そこで、「この水・土・里を子供たちに」をモットーに、地域住民が一体となって目地詰め作業を行いました。（写真）

作業の内容は、①目地が完全に無い箇所では、農機具用の廃棄となった V ベルトですきまを埋め込み、ゴム樹脂でコーティング。（ゴム樹脂量の使用量削減に効果）②目地が一部破損している箇所ではモルタル塗布。というように破

損具合に応じて補修方法を工夫しながら、約700m実施しました。

また、今回の活動にあわせ南加賀支部の現地研修会「☆～うらんとこの活動みてくださし～☆」を実施、他の活動組織からも多くの見学者が訪れました。

見学に訪れた他の活動組織の方々には、今後の自分たちの活動に活かそうと、熱心に写真やメモをとっており、お互いに非常に有意義な1日となりました。

■530運動について

奥能登支部【尾山農業環境保全組合】

尾山農業環境保全組合では、農村環境向上活動のうち生活環境保全の一環として、町野中学校に530運動の参加を呼びかけたところ、同中学校1年生が参加して町野中学校周辺の農道、水路のゴミ拾いが行われました。

歩き始めた頃はゴミもあまり落ちていませんでしたが、川沿いの農道までいくと空き缶やプラスチックなどのゴミがたくさん落ちていました。中学生は嫌な顔せず一生懸命ゴミを拾いゴミ袋に入れていき（写真）、終わってみるとゴミでいっぱいになったゴミ袋がたくさん集められていました。



普段、気にとめることのない水路や農道のゴミを拾うことによって、地域をきれいに守らなければいけないという気持ちを子どもたちと共有することができました。

【事務局からのお知らせ】

新年を迎え、また4月からは新たな年度が始まるにあたりまして役員等の変更があるかと思ひます。代表者や書類郵送先、又は役員が変わる活動組織におきましては、体制が確定次第、市町を通して事務局まで届出をお願いいたします。なお、届出書に関しましては【参考様式17号】採択変更届出書を作成し提出願ひます。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会 事務局：中 正樹

TEL：FAX 076-249-8191

E-mail：ishikawa@shigenhozen.jp